

認定・仮認定NPO法人シート

(認定) 特定非営利活動法人 ブッダ基金

教育支援

医療支援

産業支援

【団体の概要】

(設立年) 平成13年8月1日(14年3月7日法人化)
(代表者) 理事長 加藤 義一
(事務所所在地) 〒432-8021 浜松市中区佐鳴台3-52-22(2F)
(電話番号) 053-415-8144 / FAX 053-415-8144
(アドレス) buddhafoundation1991@gmail.com
(HP) <http://buddha-f.org>
(会員数) 33 人
(職員数) 2 人(常勤 0 人、非常勤 2 人)



移動図書館：図書の受渡し、にいみ号

【団体の目的】

ブッダ基金は、ネパールの山間部にある無医村の人々に対して、医療援助活動に関する事業を行うとともに、医療福祉、識字教育、産業並びに女性の地位向上のための援助を行い、もって国際貢献に寄与することを目的としています。



女性の自立支援：研修室と講師、作品

【活動又は協働の実績】

設立当初は現地での医療支援活動が主だったが、現地状況の変化により教育支援活動が主体となってきている。

<こども移動図書館プロジェクト> ポカラのレイクサイドに開設した図書館を拠点とし、山間部の学校など(年間約150校)に日本から送った移動図書館車「にいみ号」で本を届けて(貸し出して)いる。

<女性の自立支援プロジェクト> 2012年から開始した恵まれない女性のための職業訓練プロジェクト。3か月を1タームとして裁縫の訓練を有給で授与し、卒業時にはミシンを贈呈。現在までに20人以上の訓練生が卒業し、ほとんどが、就職や独立をしている。

<バガワティ小学校支援活動> 低いカーストの村の学校の敷地にコーヒー園を作り、収益を学校教育の運営資金とすることで、持続可能な「支援」とする活動。また、生徒数の増加と老朽化による校舎の建替事業の資金を援助した。

【団体からのメッセージ】

「ブッダ基金」は、2005年に静岡県初の「認定NPO法人」として認定を受け、2012年のNPO法改正後も所轄庁認定法人として名誉ある座を保っています。

2015年4月25日に発生した「ネパール大地震」に対し、多くの寄附・募金をいただき、ありがとうございました。ネパールの現地パートナー「NGO ヒマラヤブッダ基金」や「セイブザワールド」と協力し、被災者の食料支援や学生への文具の提供、被災学校の再建支援などを行いました。

今後は、ネパールと日本の文化交流を深め、より強い協力体制を築いていきたいと考えております。皆様の温かいご支援をお願いします。また、「ブッダ基金」の活動に参加していただける方を募っております。